

| | | | |
|----------------|---|----------------|---------|
| 単元名・教材名 | いろいろなおはなしをよもう 「おとうとねずみ チロ」 | 東京書籍 | 国語 1 年上 |
| ねらい | ○いろいろな物語に興味を持ち、楽しんで読もうとすることができる。 | (関心・意欲・態度) | |
| | ◎物語の好きな場面を探しながら読み、その様子を人物の行動や会話を基に想像しながら読むことができる。 | (読む) (1) ウ | |
| | ◎本を楽しんで読み、大好きな本を見付けることができる。 | (読む) (1) カ | |
| | ○文の中における主語と述語との関係に注意して読むことができる。 | (伝国) (1) イ (カ) | |

本単元における言語活動

・「おすすめの本紹介」に好きなところと、そのわけを書いて発表し合う。

指導計画・評価規準

| 階 | 欄 | 目標 | 主な学習活動 | 具体的な書く活動 | 評価規準 (評価方法) | |
|-----|-----------|---|---|---|---|--|
| 見通す | 1 | ・「おすすめの本紹介」のイメージを持つことができる。 ・物語を通読後、初発の感想を発表して、学習の見通しを持つことができる。 | ・「おとうとねずみチロ」を学習し、次に「おとうとねずみチロ」シリーズを読んで「おすすめの本紹介」で交流することを知る。 ・教師の書いた「おとうとねずみチロ」シリーズの「おすすめの本紹介」の例を見て、言語活動のイメージをつかむ。 ・全文を読み、物語の内容について大体をつかみ、初発の感想を出し合う。 ・学習計画を確認する。 ・学習はワークシートで進め、学習課題は前もって載せておくことを確認する。 | ・好きなところをワークシートに書く。 | 【関意態】(発言・行動観察) ・読み聞かせを楽しんで聞き、読み上げや「おすすめの本紹介」など、これからの活動に興味を持って取り組もうとしている。 | |
| | 2 | | | | 【読】(ワークシート) ・物語の好きなところを見つけて、初発の感想を書いている。 | |
| 深める | 3 | ・手紙を受け取ったときの様子を想像しながら読むことができる。 | ・登場人物に注意しながら、手紙をもらったときの様子や気持ちを考えながら読む。 | ・手紙を読んで「大よるこひ」する叙述や、口々に好みの色を言い合うねずみのきょうだいたちの様子や気持ちを吹き出しに書く。 | 【読】(発言・音読・ワークシート) ・おばあちゃんからの手紙をもらったときのチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読み取っている。 【言】(ワークシート・発言) ・主語と述語の関係に注意しながら読んでいる。 | |
| | 4 | ・チロのチョッキはないと言われて不安に思うチロの様子を想像しながら読むことができる。 | ・三匹の会話から、チロの気持ちが大きく変化し、心配になったチロの様子や気持ちを考えながら読む。 | ・挿絵や会話文から、チロの気持ちが大きく変化した様子を想像して吹き出しに書く。 ・1の場面の好きなところに線を引きそのわけを書く。 | 【読】(発言・音読・ワークシート) ・チロのチョッキはないと言われてたときのチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読み取っている。 【言】(ワークシート・発言) ・主語と述語の関係に注意しながら読んでいる。 | |
| | 5 | ・「いいこと」を思いついたときのチロの様子を想像しながら読むことができる。 | ・「いいこと」を思いついたチロの行動や会話から、チロの様子や気持ちを考えながら読む。 | ・「いいこと」を考えたチロの行動や会話から、チロの気持ちを想像して吹き出しに書く。 | 【読】(発言・音読・ワークシート) ・「いいこと」を思いついたときのチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読み取っている。 【言】(ワークシート・発言) ・主語と述語の関係に注意しながら読んでいる。 | |
| | 6 | ・おばあちゃんに呼びかけたときのチロの様子を想像しながら読むことができる。 | ・おばあちゃんへお願いを伝えたチロの行動や会話から、チロの様子や気持ちを考えながら読む。 | ・おばあちゃんへ呼びかけたときのチロの行動や会話から、チロの気持ちを想像して吹き出しに書く。 ・2の場面の好きなところに線を引きそのわけを書く。 | 【読】(発言・音読・ワークシート) ・おばあちゃんに呼びかけたときのチロの行動や会話に着目し、様子を想像しながら読み取っている。 【言】(ワークシート・発言) ・主語と述語の関係に注意しながら読んでいる。 | |
| | 7 (本時) | ・チョッキが届いたときのチロの様子を想像しながら読むことができる。 | ・自分のチョッキを見たときのチロの行動や会話から、チロの様子や気持ちを考えながら読む。 | ・自分のチョッキを見たときのチロの行動や会話からチロの気持ちを想像して吹き出しに書く。 ・3の場面の好きなところに線を引きそのわけを書く。 | 【読】(発言・音読・ワークシート) ・チョッキが届いたときのチロの行動や様子を想像しながら読み取っている。 【言】(ワークシート・発言) ・主語と述語の関係に注意しながら読んでいる。 | |
| | 8 | ・「おとうとねずみチロ」の好きだったところを発表する。 | ・おはなし全体で、一番好きだったところの紹介カードを作る。 | ・おはなし全体で一番好きなところを「おすすめの本紹介」に書く。 | 【読】(発言・紹介カード) ・読んだ物語の好きなところを発表している。 | |
| | まとめ | 9 | ・「おとうとねずみチロ」のシリーズを読み、「おすすめの本紹介」を書くことができる。 ・教科書に紹介されている本を読み「おすすめの本紹介」を書くことができる。 | ・「おとうとねずみチロ」シリーズの読みか聞かせを聞き、好きな本を選び、「おすすめの本紹介」を書く。 ・自分の好きな本を選んで読み「おすすめの本紹介」を書く。 | ・選んだ物語の好きなところや挿絵に線を引き、「おすすめの本紹介」に書きまとめる。(①題名・作者名②好きなところ③好きなわけ) | 【読】(紹介カード) ・「おすすめの本紹介」を書くために、好きなところを見つけて線を引いている。 ・選んだ本の好きなところと好きなわけを書いている。 |
| | | 10 | | | | 11 |
| | 12 | ・「おすすめの本紹介」の交流をし、それぞれの物語のおもしろさを見つめることができる。 | ・「おすすめの本紹介」の発表をする。 ・友達の発表を聞いて、読んでみたいと思った本を読んでみる。 | | | |
| | 13 | | | | | |

本時の指導・・・**目標** チョッキが届いたときのチロの様子を想像しながら読むことができる。

| | | 展 | 開 |
|---------------|--|--|---|
| 段階 | 学 習 活 動 | 指 導 方 法 や 留 意 点 (○教師の働きかけ ■書く活動 ◇評価) | |
| つかむ (5分) | 1 前時想起 ・ おばあちゃんに呼びかけたときのチロの気持ちを想起する。 2 課題把握 チョッキがとどいたときのチロのようすやきもちをかながえ、すきなところを見つけよう。 | ○おばあちゃんに呼びかけたときのチロの気持ちをワークシートで確認する。 ○課題を読んで、本時の目標を確認する。 | |
| 深める (25分) | 3 音読 ・ 学習範囲を音読する。(P.61.L3～P.62.L10) 4 学習の見通し ・ 課題を解決するための方法・順番を確かめ合う。 5 一人学び・全体交流 ① 小包が届いた時のチロの気持ちを考える。 (ぼくのも入っているかなあ。) (やっと、届いたなあ。) ② チョッキを見つけたチロの気持ちを考える。 (チロの様子に線を引く。) ・ (「あ、しました。だあいすき」) ・ (さっそくチョコッキをきました。) ・ (おかめてっぺんの木へかけのぼりました。) ・ (大ごえでさげびました。) ・ (「おばあちゃん、ぼくは、チロだよ。しましまのチョコッキ、ありがとう。」) ・ (きえるのをまって) ・ (ゆっくり、いいました。) ・ (「あ、り、が、と、う。」) (その時の気持ちを吹き出しに書く。) (うれしいなあ。) (ぼくのだあいすきなしままだあ。) (おばあちゃんありがとう。) (おばあちゃん、ぼくのことわすれないでチョコッキをあんでくれてありがとう。) 6 吹き出しの交流をする。 ・ 吹き出しの発表をして、チョコッキが届いた時のチロの気持ちを交流する。 | ○チロの気持ちを想像するよう指名読みをさせる。 ○チロの気持ちが伝わる場所に線を引くことを確かめ合う。 ○その時のチロの気持ちを考える。 ○小包が届いた時のチロの気持ちを共感させるために実際に小包を提示する。(動作化) ■チロの気持ちの伝わる場所に線を引かせ、その時のチロの気持ちについて考えて書く。 ■線を引いたところのチロの気持ちを考えて吹き出しに書く。 ○チロの行動や会話から、チョコッキが届いてうれしいチロの気持ちを想像させる。 ○発表した吹き出しを板書して、交流する。 ○「だあいすき」と「だいすき」を音読して比較させる。 ○「ありがとう」、「あ、り、が、と、う」と2回言うわけを考え、音読で表現させる。 | |
| まとめる (15分) | 7 各自のまとめ ・ 好きなところを見つけ、そのわけを書く。 8 まとめ交流 ・ 各自のまとめを発表する。 ◎ ・わたしのすきなところは、チロが「あ、しました。だあいすき。」といったところです。わけは、チロのすきなしましまがとどいたからです。「だあいすき」といったのがとてもうれしそうです。 | ■3の場面を振り返り、「好きなところ」を見つけ、「すきなわけ」をワークシートに書く。 ○気持ちが表れている会話の読み方に注意させながら役割読みをさせる。 ○チロの気持ちを考えて吹き出しに書いたり、好きなところを見つけたりすることができたか自己評価させる。 ○家庭学習で音読するように伝える。 | |

◇具体的評価規準（読む能力）

- ・チロの行動や会話から、チロのうれしい気持ちや感謝する気持ちを想像して書くことができている。

支援の手立て

- ・挿絵や、音読などチロのうれしい様子を想像させながら書くように助言する。